

中学部（第1学年） 生活単元学習 授業案

日 時：令和2年10月9日（金）

10：40～11：45

場 所：YYルーム

授業者：T1 富田真矢 T2 引地万里絵

T3 草刈真一 T4 深瀬真智

T5 鈴木誠 T6 本田かつら

1 単元名 「紅花染めワークショップをしよう」

2 期待する姿

- ・友達や教師と一緒に紅花染めについて学んだり、紅花染めを体験して楽しんだりする姿。
- ・学んだことや経験したことを生かしながら、協力して紅花染めワークショップの準備に取り組む姿。
- ・紅花染めワークショップでお客様に紅花染めの仕方や楽しさを伝えるなど、お客様と関わりながら取り組む姿。

3 単元計画について

（1）生徒および単元のテーマについて

- ・中学部1学年は、男子5名、女子3名が在籍し、2学級編成である。学校生活にも慣れ、休み時間にクラスを越えて、好きなことや興味のあることを共有しながら、教師や友達と関わる姿が増えてきた。1学期の畑の学習では、地域の方からいただいた紅花の種を撒き、自分たちで水やりをしたり、収穫したりするなど、紅花を育てる活動に取り組んだ。単元「米織ハウスをひらこう」では、米織についてグループごとにパソコンで調べたり、高等部の生徒や教師にインタビューをしたりした際に、紅花で染められている米織もあることを学習した。これらの活動を通して、生徒たちは紅花を身近な花として知ることができた。
- ・単元「米織ハウスを開こう」では、招待したお客様に、展示した米織の製品について説明したり、米織に関するクイズを考えて出題したりする活動に取り組んだ。「クイズ良かったよ。」「わかりやすい説明だったよ。」などお客様から褒めてもらうことで、人前で発表したり説明したりする活動に自信をもって取り組むことができた。
- ・以上の学習や経験から紅花染めについて学んだり、染物を楽しんだりすること、また、学んだことや実際に取り組んだことをワークショップという方法で、身近な人に伝えたり、発表したりすることで紅花染めの魅力を知り、身近な人々に伝え喜びを共有してほしいと考え本単元を設定した。
- ・本単元は「紅花染めワークショップをしよう」である。単元の前半は、「紅花染めをしよう」をテーマに、紅花の種を頂いた地域の方から話を聞いたり、自分たちで染料を作ったりして、紅花染めについて知る。また、染織工房わくわく館へ校外学習に行き、紅花染めを体験

する。更にわくわく館で体験したことを生かして、紅花染めに取り組む。紅花染めに繰り返し取り組むことで、綺麗に染まったときの喜びや自分で付けた模様が浮き出る楽しさを知り、紅花染めの魅力を知ることが期待している。また、もっと染物をしたい、他の友達や教師にも伝えたい気持ちが持てるように、廊下に作品を飾り見てもらう。

- ・単元後半は、「紅花染めワークショップをしよう」をテーマに、紅花染めをお客様に体験してもらうことを目的としたワークショップの準備や運営に取り組む。ワークショップとはどんなことをするのか、大切なことは何かなどワークショップの経験のある高等部の教師をゲストティーチャーとして招き、ワークショップについて学ぶ。準備の活動では、色を選ぶ、模様作りをする、染める、色止めをするの4つの工程ごとのグループに分かれて活動し、工程ごとの見本を作ったり、お客様に説明できるように体験手順表を作ったりすることに取り組む。
- ・ワークショップ当日は、前単元からつながりのある校内の教師をお客様として招待し、紅花染めを体験してもらう。工程ごとにやり方やポイントを説明したり、染め方の手本を示したりする。分かりやすく相手に説明したときに伝わった嬉しさや体験者にポイントを説明しながらサポートする楽しさ、紅花染めの魅力をお客様と共有する喜びを感じることを期待している。

(2) 活動内容および日程計画

月 日	1校時の活動内容	3・4校時の活動内容	6校時の活動内容
9月24日(木)		<ul style="list-style-type: none"> ・「紅花染めをしよう」導入 ・紅花染めを見る。 ・日程を確認する ・紅花の種をいただいた地域の方からのビデオを見る。 	
25日(金)	・紅花染めについての調べ学習	<ul style="list-style-type: none"> ・染料を作る。 ・染物をする。 	・校外学習の事前学習
28日(月)		校外学習(わくわく館) <ul style="list-style-type: none"> ・わくわく館で染物体験をする。 	・校外学習の振り返り
29日(火)		<ul style="list-style-type: none"> ・染物をする。 	・染めた布を廊下に飾る。
30日(水)		↓	↓
10月1日(木)		↓	↓
2日(金)		<ul style="list-style-type: none"> ・「紅花染めワークショップをしよう」導入 ・わくわく館で体験したビデオを見る 	・ワークショップ準備

	↓	る。 ・準備グループ発表 ・紅花染めワークショップの準備	
5日(月)	・招待状、 ポスター、 看板作り	ゲストティーチャー ・高等部の教師にワークショップについて話を聞く。	
6日(火)		・紅花染めワークショップの準備 ・担当の工程を説明できるように練習する。 ・工程ごとの見本や工程表を作成する。	
7日(水)	↓	↓	プレオープン ・ゲストティーチャーに来て頂いた高等部の教師を招待する。
8日(木)	・ワークショップ準備	紅花染めワークショップ ・担当の工程のやり方を説明したり、見本や手本を示したりする。 ・アンケートを基に、良かったことや直したいことを話し合う。	・紅花ワークショップの準備
9日(金) 本時	↓	↓	
12日(月)	↓	↓	・会場片付け
13日(火)	・単元の振り返り	・単元の振り返り	

※は、地域や社会の資源の活用や地域や社会との連携・協働の視点

- ・単元を前半(9/24~10/1)は「紅花染めをしよう」、後半(10/2~10/13)は「紅花染めワークショップをしよう」とテーマを分けて展開していく。
- ・1校時の活動は、個別に取り組む。

4 地域や社会の資源の活用や地域や社会との連携・協働について

- ・紅花の種をいただいた地域の方から話を聞き、染料をいただく。そのお礼として、自分たちが染めた布や手紙を送る。
- ・校外学習でわくわく館へ行き、本格的な紅花染めを体験する。体験で学んだことを生かして紅花染めに取り組む。また、わくわく館から教えてもらった紅花染めのポイントをワークショップで伝えることができるように、ワークショップ導入後、体験時のビデオでポイントを確認する。
- ・単元後半では、ワークショップの経験のある高等部の教師をゲストティーチャーに招き、ワークショップについて学ぶ。プレオープンにも招待し、運営のアドバイスをもらう。
- ・ワークショップに招待したお客様に自分たちが体験して学んだことを説明したり、見本や手本

を示したりして、染物を体験してもらう。

- ・ワークショップで紅花染めを体験したお客様にアンケートを取り、良かった点をワークショップへの意欲に、改善点を次時の取り組みに生かす。

5 本時の計画

(1) 本時の期待する姿

- ・紅花染めワークショップで、お客様に自分の担当する工程のやり方が伝わるように説明したり、見本を示したりする姿。

(2) 展開

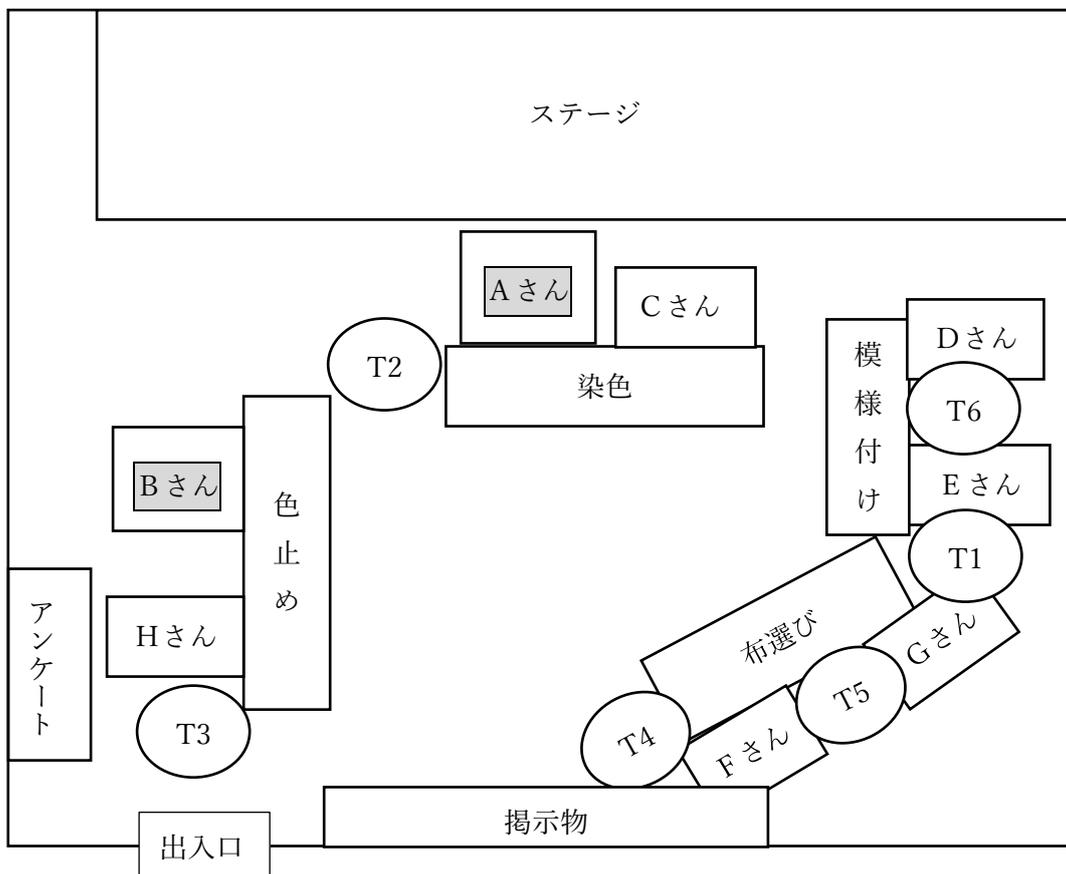
時配	生徒の活動	教師の動き
5	<ul style="list-style-type: none"> ○始めのあいさつをする。 ○本時の活動を知る。 ・YYルームに集合し、活動内容についての話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見て分かるように活動の流れを写真やイラストで示す。
15	<ul style="list-style-type: none"> ○紅花染めワークショップの準備、練習をする。 ・グループごとにお客様が体験できるように準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒と一緒に準備をする。 ・自信を持って説明できるように、説明の仕方を確認する。
30	<ul style="list-style-type: none"> ○紅花染めワークショップを開く。 ・お客様を迎える。 ・グループごとにやり方を説明したり見本や手本を示したりする。 <p><布選び></p> <p>FさんGさん…白、黄色、藍色の布の色で染めたときの出来上がりの色別のモデルをお客様に示しながら、教師と一緒に説明する。お客様の選んだ布の色が分かるようにシールを貼る。前日のお客様に作品を届ける。</p> <p><模様付け></p> <p>DさんEさん…洗濯ばさみ、クリップ、輪ゴムでできる模様を、模様付けモデルをお客様に示しながら説明する。体験が終わったお客様に、自分たちが染めた作品の展示を紹介する。</p> <p><染色></p> <p>AさんCさん…染める時間や染め方のポイントをお客様に説明する。お客様の待っている時間にクイズを出題する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・始まりが分かるように開始の合図を鳴らす。 ・T4、T5は、Fさん、Gさんが見本を示すことができるように、手を添えたり、一緒に説明したりする。 ・T1、T6は、Dさん、Eさんが見本を示したり説明したりできるように、一緒に説明したり、手順表で確認するように声掛けをする。 ・T2は、AさんとCさんがお客様に説明できるように見守り、手順表で確認するように声掛けをする。

	<色止め> BさんHさん…酢、水の順番で、色止めするようお客様に説明する。招待したお客様の受付をする。	・T3は、BさんとHさんがお客様に説明できるように見守り、手順表で確認するように声掛けをする。
5	○片付けをする。 ・グループごとに片付けをする。	・一緒に片付けをする。
10	○振り返りをする。 ・グループごとに頑張ったことや、工夫できそうなことを話し合う。 ・グループで話したことを発表する。 ○終わりのあいさつをする。	・自分が頑張ったこと、工夫できそうなことに気付けるように、グループごと声掛けをする。

※ は協議対象生徒

(3) 場の設定と配置について

<YYルーム>



※ は協議対象生徒

- ・黒板に調べ学習や染物をして学習したことなどの掲示したり、自分たちが染めた作品を展示したりする。

(4) 本時の個別の期待する姿と手立ての工夫

名 前		Aさん ※協議対象生徒	
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力	
<ul style="list-style-type: none"> ・紅花染めについて調べたり体験したりしたことをまとめ、友達や教師に伝える。 ・伝わりやすい説明の仕方やクイズを考えるなど、お客様を意識してワークショップの準備に取り組む。 ・ワークショップで、お客様に紅花染めの仕方や学んだことを伝えるなど、お客様と関わりながら取り組む。 		<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンや本などでの調べ方やインタビューの仕方が分かる。(知・技) ・調べたことのまとめ方や相手への伝え方が分かる。(知・技) ・調べ学習や体験を通して、紅花染めについて知る。(知・技) ・お客様を意識して、準備物や伝え方などを工夫する。(思・判・表) ・学んだことを生かしてワークショップの準備に取り組む。(思・判・表) ・友達や教師、お客様に自分から伝えたり、関わったりしようとする。(主) 	
本単元に関わる支援内容		日生③、生単②、自立①	主な各教科との関連 国語 1 段階Aイウ、Bアエ
分 担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て
染色	<ul style="list-style-type: none"> ・紅花染め体験では、染料の色の変化や染色過程に興味を持って取り組んだ。友達と模様付けの相談をしたり、染物を見せ合ったりする様子も見られた。 ・インタビューや本などでの調べ学習では、紅花の色についての質問を考えたり、染料について調べたりし、意欲的に取り組んでいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様に染色の仕方や紅花染めについて学んだことをクイズなどを用いて分かりやすく伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様に染色の仕方や紅花染めについて学んだことを分かりやすく伝えられるように、事前に伝えたいことや伝え方を確認する。(見通しやめあて)(友達や教師との関り) ・お客様にクイズなどを用いて説明できるように、クイズカードを用意したり、説明する内容を文字でまとめておいたりする。(教材や用具)

名 前		Bさん ※協議対象生徒	
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力	
<ul style="list-style-type: none"> ・紅花染めについて調べたり体験したりして、それをまとめたり発表したりすることに自分から意欲的に取り組む。 ・調べたり体験したりしたことをもとに、教師や友達とやりとりをしながら協力してワークショップの準備を進める。 ・ワークショップでお客様と積極的に関わりながら紅花染めの仕方や楽しさを伝える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・紅花染めの仕方やポイントが分かる。(知・技) ・調べ方やまとめ方が身に付く。(知・技) ・人の考えを取り入れて自分の考えを持つ。(思・判・表) ・お客様の言葉に応じて適切な対応ができる。(思・判・表) ・自分の良さや友達の良さに気付く。(主) ・積極的にお客様に話し掛け、関わろうとする。(主) 	
本単元に関わる支援内容		生単①②④ 自立①	主な各教科との関連 国語 1段階(1)イ、(2)Aア
分 担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て
色 止 め	<ul style="list-style-type: none"> ・紅花染め体験では、特に模様付けに関心が高く、毎回違った模様付けに挑戦するなど、意欲的に取り組んでいた。 ・染料以外の紅花の使われ方に関心を持ち、調べ学習に意欲的に取り組んでいた。熱心にメモを取り、後でその内容について尋ねると簡潔に答えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様に分かりやすく自信を持って色止め後の手順等を説明したり接客したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様に自信を持って対応できるように、良い点を大いに褒めて励ます。 (友達や教師との関わり) ・お客様に分かりやすく自信を持って説明したり接したりできるように、伝える内容を文字にまとめておく。 (工程や手順)

名 前		Cさん		
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力		
<ul style="list-style-type: none"> ・紅花染めについて調べたり体験したりしたことをまとめ、友達や教師に伝える。 ・伝わりやすい説明の仕方やクイズを考えるなど、お客様を意識してワークショップの準備に取り組む。 ・ワークショップでお客様に紅花染めの仕方や学んだことを伝えるなど、お客様と関わりながら取り組む。 		<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンや本などでの調べ方やインタビューの仕方が分かる。(知・技) ・調べたことのまとめ方や相手への伝え方が分かる。(知・技) ・調べ学習や体験を通して、紅花染めについて知る。(知・技) ・お客様を意識して、準備物や伝え方などを工夫する。(思・判・表) ・学んだことを生かしてワークショップの準備に取り組む。(思・判・表) ・友達や教師、お客様に自分から伝えたり、関わったりする。(主) 		
本単元に関わる支援内容		生単①②、自立③	主な各教科との関連	国語 1 段階Aイウ、Bアエ
分担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て	
染色	<ul style="list-style-type: none"> ・紅花染め体験では、繰り返し取り組んだことで、主体的に取り組むことができた。特に、染色過程での色の変化に関心を持って取り組んだ。 ・インタビューや本などで、染料の作り方や色素について調べるなど、染料や紅花染めの色に興味を持ち、調べ学習に意欲的に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様に染色の仕方や紅花染めについて学んだことをクイズなどを用いて分かりやすく伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様に紅花染めの仕方や学んだことを伝えられるように、事前に伝えたいことや伝え方を確認する。 (見通しやめあて)(友達や教師との関り) ・お客様にクイズなどを用いて説明できるように、クイズカードを用意したり、説明する内容を文字でまとめておいたりする。 (教材や用具) 	

名 前		Dさん		
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力		
<ul style="list-style-type: none"> ・紅花染めについて調べたり体験したりしたことをまとめ、友達や教師に伝える。 ・学んだことや経験したことを生かしながら協力してワークショップの準備に取り組む。 ・ワークショップでお客様に紅花染めの仕方や学んだことを伝えるなど、お客様と関わりながら取り組む。 		<ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に調べ学習を行ったり、ゲストティーチャーのビデオを見たりして紅花染めについて知る。(知・技) ・お客様を意識して、準備物や伝え方などを工夫する。(思・判・表) ・事前に練習、確認し自信をもって説明したり紹介したりする。(主) 		
本単元に関わる支援内容		自立①② 生単②③④⑤	主な各教科との関連	国語 2段階Aイウ
分 担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て	
模様付け	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に育てた紅花の摘み取りをして、これで染められるといいねと話していた。紅花染めについて興味をもって学習に入った。 ・紅花染めでは、ハンカチのたたみ方や洗濯ばさみの挟み方を工夫し、好きな模様を染めることができた。染めるコツを教えてもらったことを、思い出し、液の中で布を広げて丁寧に染めていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の作品を見てもらい、お客様におすすめの模様を伝えたり、模様作りのコツを伝えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の活動と目当てを確認できるようにカードにし準備する。 (見通しやめあて) ・模様を説明しやすいよう実際の模様見本を用意する。 (教材や用具) ・自信をもって話せるように、お客様に説明する言葉をカードにして準備し、一緒に練習する。 (友達や教師との関わり) 	

名 前		Eさん	
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力	
<ul style="list-style-type: none"> ・友達や教師と一緒に紅花染めを体験し、楽しさを表現する。 ・教師や友達と一緒に紅花染めワークショップの準備に取り組む。 ・お客様におすすめの模様を伝えたり、教師と一緒に友達が作品を紹介したりする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達と一緒に紅花染めをする。(知・技) ・紅花染めを体験し、楽しさを声や体で表現する。(思・判・表) ・教師と一緒に友達の作品を紹介する。(思・判・表) ・おすすめの模様を選んで、相手に伝える。(主) 	
本単元に関わる支援内容		生単②③	主な各教科との関連 国語1段階(1)イ
分担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て
模様付け	<ul style="list-style-type: none"> ・気に入ったものや好きなものは選んで伝えることができる。 ・紅花染めでは、道具を選んで教師と一緒に模様を付けた。染め液には、自分から布を入れて染めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おすすめの模様を伝えたり、教師と一緒に作品を紹介したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おすすめを伝えられるように、「おすすめの模様はどれですか。」と声掛けしたり、お客様に聞いてもらったりする。 (友達や教師との関わり) ・友達の作品を教師と一緒に紹介できるように、顔写真を用意する。 (教材や教具)

名 前		Fさん	
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力	
<ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に紅花染めをしたり、相手を見ながら布を見せて紹介したりする姿。 ・教師と一緒に紅花染めワークショップの準備に取り組む姿。 		<ul style="list-style-type: none"> ・布を見せる相手がわかり、相手の方を見て布を見せることができる。(知・技) ・紅花染めで染まった布の色の変化を感じ、「きれい。」「うれしい。」などの気持ちを拍手や声で表すことができる。(思・判・表) ・お客さんからの話し掛けに注目し、拍手や声で答えることができる。(思・判・表) ・自分から布を持って相手に見せることができる。(主) 	
本単元に関わる支援内容		生単①②自立①	主な各教科との関連 国語小学部1段階Aイウ 算数小学部1段階Aウ
分担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て
布選び	<ul style="list-style-type: none"> ・紅花染めの体験では、3色の布を1枚ずつ見せて、何色がいいか、順番に聞いたところ「藍色がいい人。」のときに声を出して布を選ぶことができた。 ・染色した布をハンガーにつけ、渡したところ、ハンガーの両端を持ち、友達や先生に布を見せることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を見て、布を見せたり、渡したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の活動内容がわかり、見通しを持って活動できるように手順や活動内容を視覚的に示す。 (見通しやめあて)(工程や手順) ・相手や布に注目できるように適宜ついたてなどを準備する。 (場の配置)

名 前		Gさん		
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力		
<ul style="list-style-type: none"> 見通しを持って、教師や友だちと一緒に、紅花染めを体験したり、ワークショップの準備やワークショップをしたりして、それぞれの活動に取り組む姿。 		<ul style="list-style-type: none"> 紅花染めについて知ることができる。(知・技) 紅花染めが楽しいと感じることができる。(思・判・表) 紅花染めやワークショップのやり方が分かり、進んでできるようになる。(主) 		
本単元に関わる支援内容		日生① 生単①	主な各教科との関連	社会1段階(1)ア 国語1段階(1)ア
分担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て	
布選び	<ul style="list-style-type: none"> 友達の紅花染めの作品を見た後、個別に紅花染めを体験した。水が好きで楽しく紅花染めができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 見通しを持ってワークショップをしたり、お客様とやり取りをして関わったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 何をするのか分かるように事前にカードなどを使ったり、動画を撮り個別に見る時間を持ったりする。 (見通しやめあて) お客様と関わるように教師が仲立ちをする。 (友達や教師との関わり) 	

名 前		Hさん		
単元の期待する姿		テーマ実現の中で育成を目指す資質・能力		
<ul style="list-style-type: none"> ・紅花染めについて調べたり体験したりして、それをまとめたり発表したりすることに自分から意欲的に取り組む。 ・調べたり体験したりしたことをもとに、教師や友達とやりとりをしながら、協力してワークショップの準備を進める。 ・ワークショップでお客様と関わりながら紅花染めの仕方や楽しさを伝える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・紅花染めの仕方やポイントが分かる。(知・技) ・調べ方やまとめ方が身に付く。(知・技) ・友達とのやりとりを通して、お客様に伝える内容などについて自分の考えを持つ。(思・判・表) ・お客様の言葉に応じて適切な対応ができる。(思・判・表) ・自分の良さや友達の良さに気付く。(主) ・お客様に自分から話し掛け、関わろうとする。(主) 		
本単元に関わる支援内容		生単①②	主な各教科との関連	国語 1 段階(1)イ、(2) Aア
分 担	本単元のこれまでの様子	本時の期待する姿	手立て	
色 止 め	<ul style="list-style-type: none"> ・紅花染め体験では、いろいろな模様付けに関心があった。毎回布を広げては感激し満足していた。 ・調べ学習では校内の先生へのインタビューを行った。質問内容を教師と一緒に考えて決め、インタビュー当日は準備した質問をしっかりと見え、回答をきちんとメモすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から色止め後の手順等を説明したり接客したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様に自分から関わられるように、良い点を大いに褒めて励まして自信が持てるようにする。 (友達や教師との関わり) ・お客様に自信を持って接することができるように、伝える内容を文字にまとめておく。 (工程や手順) 	

(5) 評価

- ・紅花染めワークショップで、お客様に自分の工程のやり方を伝えるように説明したり、見本を示したりできたか。